

令和2年4月22日

静岡市長

田辺 信宏 様

静岡市議会 志政会

代表 望月 厚司

## 新型コロナウイルス対策に関する緊急対応の申入れ

新型コロナウイルスの猛威は、死者 17 万人を超える世界的な流行に発展した。世界中が感染防止に取り組む一方で、世界規模の深刻な景気後退懸念が高まっている。

日本国内においても、感染者が 1 万人を超え、観光関連事業や飲食業をはじめ様々な業種で甚大な影響が生じている。また、感染者が急増する中、各地の医師会から医療システムの崩壊する可能性があるという指摘が出ている。

静岡市においても、新型コロナウイルスの影響で、事業や生活が激変してしまった方々や、医療システム・医療従事者を守るため、迅速かつ的確な支援策を講じるよう下記の事項を申入れる。

### 記

#### 1. 感染者の症状に応じた受入れ体制の整備

- ① 無症状や軽症の感染者は、病院でなく専用施設で経過観察できるようにする。
  - ・ 予約が激減しているホテルや、旅館や企業の宿泊付き研修施等を活用する。
  - ・ 感染者の急激な重症化に備え、新型コロナウイルスに対応した医師・看護師の医療施設常駐など安心医療体制を構築する。
- ② 感染病床の増床
  - ・ 周辺市町との連携により、感染病床の増床を図る。
- ③ 医療従事者の過重労働の軽減
  - ・ 医療機関による役割分担体制の整備をする。
  - ・ 医療従事者の感染症に関する教育、院内感染対策の徹底。
  - ・ 緊急性の低い、他疾患に対する処置や手術の延期
- ④ 医療従事者の労働環境整備として危険手当・家賃補助他、家族への風評被害対策を行うこと。

#### 2. 徹底的な検査体制の確立

上記、1. に示した感染者の受入れ体制を整備した上で、ドライブスルー検査などで PCR 検査体制を拡充し、検査体制を大至急構築する。

### 3. 市民への協力要請と適切な補償

第1波が収束しても、対策を緩めると第2波が懸念される。対策は、ワクチンや治療薬が開発され、十分量が供給されるまで続けなければならない。数か月から1年にわたる長期休業の間、事業主に対しての補償、従業員に対しての給与の支払いや再開時の雇用の保証を、国と静岡市が行う必要がある。

- ① 市民に対しての長期戦への対応協力の要請。
- ② 休業等への継続的な補償、給与や雇用の保証の継続。

### 4. 小中学校・市立高校の学校休業の対応について

小中学校の休校や外出自粛に伴う子供たちへのメンタルヘルス対策の充実と、家庭学習などを含めた学習生活習慣の指導と共に、早急にオンライン授業の推進に取り組むこと。

### 5. マスクと防護服の確保及び配布

事業を継続する病院、保育園、介護施設等へのマスクの提供、防護服の確保、アルコール消毒などの配布を実施する。

### 6. 特別定額給付金への対応

10万円の特別定額給付金を迅速に支給するための給付体制整備。

### 7. 静岡市が実施するイベント等の中止又は延期の徹底

5月連休に実施される競輪日本選手権G1は、市民が外出、他県への移動をがまんしている中で、緊急事態宣言が出されている本市に、選手157人、報道50～60人など200人を超える県外の方と、競輪場内で働く市民等20人以上とが同敷地内で6日間過ごすことは、感染リスクがあまりにも大きくクラスターが発生することが懸念される。よって、他のイベントと同様に中止または延期、競輪場内で働く方たち、選手の皆さんへの感染防止対策を徹底すること。

以上